

【取立金】

請 求 の 趣 旨【支払を求める金額】

- 1 被告 は、原告に対して、次の金額を支払え。
金 _____ 円
- 2 訴訟費用は被告 の負担とする。
との判決（ 及び仮執行宣言 ）を求めます。

請 求 の 原 因（紛争の要点）【支払を求める理由】

- 1 後記差押命令表示の債務者 （以下「執行債務者」という。）は同命令が被告に送達された日以前から被告に雇用されて勤務しているが、その給与の手取り月額（基本給に通勤手当を除く諸手当を加えたものから、給与所得税、住民税、社会保険料を控除した残額）は少なくとも金 _____ 円であり毎月 _____ 日に支給されている。
- 2 原告は、執行債務者の被告に対する前項の給与債権のうち、別紙差押債権目録記載の部分について、平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日債権差押命令（地方裁判所 _____ 平成 _____ 年・第 _____ 号）を得たところ、同命令は、第三債務者である被告に平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日、執行債務者に平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日にそれぞれ送達された。
したがって、原告は、執行債務者に対する前記送達後一週間の経過により、被差押債権につき取立権を取得した。
- 3 前項の差押命令による被差押債権の範囲と数額は、下記のとおりである。この計算は、いずれも第1項記載の手取額を元にして別紙差押債権目録の記載によって差押部分を算出したものである。
記
・ 平成 _____ 年 _____ 月中の _____ 金 _____ 円
・ 平成 _____ 年 _____ 月中の _____ 金 _____ 円
・ 平成 _____ 年 _____ 月中の _____ 金 _____ 円
・ 平成 _____ 年 _____ 月中の _____ 金 _____ 円
- 4 原告がいまだに支払を受けていない執行債権及び執行費用の合計額は、金 _____ 円である。
- 5 よって、原告は取立権に基づいて被告に対し、上記第3項の被差押え債権に対する弁済として、上記第4項の範囲内である金 _____ 円の支払いを求める。

は該当するものにレ印を付けてください。

